

ハツと発達

一貫した支援編

発達障がい教室では、小・中学校、高等学校等の通常の学級や通級による指導を担当する先生、特別支援教育の経験が浅い先生に向けて、発達障がいのある児童生徒への指導や支援の取組のヒントとなるよう「発達障がい教室だより『ハツと発達』」を発行しました。

登場人物紹介



ぷりまる先生
通常の学級の担任 ベテラン
特別支援教育についてまだまだ勉強中



円山くまお先生
今年採用になった先生
通常の学級を担当している



発達ノビ子先生
特別支援教育コーディネーター
経験豊富なベテラン

① 年度末が近いから、学級で気になっている子どもが来年度のスタートでつまづかないように、**引継ぎ資料**を作っているんだ♪

へー、すごいですねー。



② ぷりまる先生、がんばっているなあ。引継ぎ資料があると、子どもも、次に担当する先生も困らないものね。

どんな資料か見せてもらおう！



③ どれが子どもにとって必要な引継ぎ資料なの…？

がんばる…



④ 普段の支援を確実につなげる視点を大切に「**個別の教育支援計画**」を活用しましょう

えっ!?! 「個別の教育支援計画」って特別支援学級の子どもに作成するものでしょ？



⑤ 文部科学省「**個別の教育支援計画の参考様式**」の項目から (抜粋)

個別の教育支援計画とは？

- ・家庭や地域、医療や福祉等の関係機関との連携を図り、長期的な視点で教育的支援を行うための計画
- ・前の学校(学年)から、次の学校(学年)や進路先等へ、支援の目標や内容を引き継ぐことができる。

本人・保護者の願い

好き・得意
苦手

学校・家庭の様子

支援の目標・内容
評価・反省



通常の学級でも、保護者の同意を得ながら作成・活用することで、継続的な支援につながるんだね。

なるほど!
新しく資料を作らなくても、日常から支援計画を活用することで確実に引継ぎをすることができるんだね。

